

## Turin's Tea Time

テッリンのティータイム



皆さん、いかがお過ごしでしょうか。寒くなったので、風邪を引かないようにご注意ください。こたつで紅茶を飲みながらのんびりするのにちょうどいい時期です。

さて、今回のテーマはクリスマスです。私は子どものころからクリスマスの雰囲気が大好きです。今年は、昔を思い出しながら岡垣町のアパートをデコレートしました。



▲11月12日に催したスイーツ教室は大盛況!参加していただいた皆さん、ありがとうございました。

今日から使える

## ひとこと英会話

Lesson14

予想外のことをしてもらったときに一言

### "You shouldn't have!"

読み方 「ユー シュッデン ハブ」

意味 「そんなお気遣いしなくても」

期待していないプレゼントをもらったときなどに使います。和訳すると「(そんなことを)するべきではなかった」ですが、「いらない」という意味ではありません。「わざわざすみません…」と、驚きと感謝を伝えています。



## オーストラリアのクリスマス

### クリスマスは家族にとって特別な時間

日本では、クリスマスは彼氏や彼女と過ごすバレンタインデーのような日だと感じますが、西洋では家族と過ごす特別な時間です。子どものころ



▲クリスマスの手伝いインカ

のクリスマスは、おばあさんやおばさんの家、時には私の家でお祝いしました。家族なりの習慣もありました。例えば、私は毎年クッキーを焼いて、叔母さんは毎年ティラミスを作って、お姉さんは毎年パヴローヴァというオーストラリアのケーキを作ったものです。クリスマスランチを食べた後、外でペタンクというゲームをみんなで楽しみました。

しかし、一番印象が残っている思い出は、サンタさんのようにプレゼントがいっぱい入った袋を持っているおじさんでした。毎年私と姉と妹は、おじさんからプレゼントをたくさんもらいました。実は1ドルの店のおもちゃばかりだったので、おもちゃの量は多かったようです。

### サンタさんとの記念撮影が定番です

もう一つのクリスマスの習慣はサンタさんとの写真です。オーストラリアのデパートなどには、大きな椅子に座るサンタさんがいます。子ども達は、サンタさ

んのひざに乗せてもらい、欲しいプレゼントを伝え、記念写真を撮ります。椅子に年号が書いてあるので、両親は、その年の思い出に写真を買います。オーストラリアの家庭には、赤ちゃんのときから10歳ぐらいまで(またはサンタさんのことを信じなくなるときまで)の記念写真があると思います。

### 雪が恋しかったクリスマス

ハロウィンの記事のように、クリスマスの悔しい思い出もあります。北半球では、クリスマスといえば雪でしょう。クリスマスカードや歌でも雪がよく出てきます。そのイメージのせいで、クリスマスに雪が降ることは当たり前のことだと思ってしまい、子どものころ、クリスマスの日にわくわく空を見上げながら雪を待っていました。オーストラリアのクリスマスは夏なので雪が降らないのは当たり前のことです。あるクリスマスの日に、何かが落ちている音が聞こえたたん、外に飛び出しましたが、やっぱり雨でした。



▲1992年に撮ったサンタさんとの写真。真ん中に見えるのが私です

今年のクリスマスは帰国せずに、北半球にある岡垣町で過ごします。雪が降るといいですね。

※ページ内のイラストは、テッリンが描いています